

近藤聡乃

- 1980 千葉県生まれ
 2003 多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業
 2008- ニューヨーク在住

主な個展

- 2023 「ニューヨークで考え中」 ミヅマアートギャラリー／東京
 2019 「近藤聡乃展 呼ばれたことのない名前」 三菱地所アルティアム／福岡
 2018 「MAM SCREEN 008: 近藤聡乃」 森美術館／東京
 2013 「KiyaKiya 1/15 秒」 ミヅマアートギャラリー／東京
 「KiyaKiya アニメーション原画展」 六本木ヒルズ A/D ギャラリー／東京
 「KiyaKiya 1/15 秒」 galleri s.e／ベルゲン、ノルウェー
 2011 「KiyaKiya」 ミヅマアートギャラリー／東京
 2008 「果肉」 ミヅマアートギャラリー／東京
 2007 「hint」 Tache-Levy Gallery／ブリュッセル、ベルギー
 2006 「てんとう虫のおとむらい」 ミヅマアートギャラリー／東京
 2004 「近藤聡乃展」 トランスポップギャラリー／京都
 2003 「近藤聡乃展」 ギャラリーエス／東京

主なグループ展

- 2024 「ジパングー平成を駆け抜けた現代アーティストたち」 佐賀県立美術館
 「Beauties, Ghosts and Samurai」 National Gallery of Art／ヴィリニウス、リトアニア
 2022 「ドマーニ明日展 2022-23 百年前から百年後へ」 国立新美術館／東京
 「ブルーピリオド展～アートって、才能か？～」 寺田倉庫 G1 ビル／東京
 2020 「Uninterrupted Wanderー 不断の彷徨」 ミヅマアートギャラリー／東京
 2019 「Annecy 2019 - Tribute to Japanese Animation -」
 Annecy International Animated Film Festival and Market (Mifa)／アヌシー、フランス
 2017 「tricky women 2017」 BildRaum07／ウィーン、オーストリア
 「Forms and Effects: Ukiyo-e to Anime」 Kresge Foundation Gallery、Ramapo College of New Jersey
 ／ニュージャージー、アメリカ
 2016 「Rewind: Selections from the Harold and Ruth Newman New Media Collection」 アジアソサエティ
 ／ニューヨーク、アメリカ
 「ポーラミュージアムアネックス展 2016-イメージと人体-」 ポーラミュージアム アネックス／東京
 2015 「Fermented Souls」 KATESHIN Gallery／ニューヨーク、アメリカ
 「Further towards the future」 Mizuma Gallery、シンガポール
 「Unveiling Fundamentals in Contemporary Art Through Asia」 OHD museum／マゼラン、インド
 ネシア
 「Toutes uniques, toutes identiques: Accumulations, répétitions, proliférations dans l'art

- contemporain」 Espace Sarah Bernhardt／グッサンヴィル、Le Musée Alfred Canal／ボン・オード
ゥメール、フランスへ巡回
- 2014 「IMPACTS!・勢み」、Zane Bennett Contemporary Art／サンタフェ、アメリカ
「ゴー・ビトゥイーンズ：こどもを通して見る世界展」
森美術館／東京、名古屋市美術館／愛知、沖縄県立博物館・美術館へ巡回
「タマガラアニメとマンガ博」アキバタマビ 21／東京
- 2013 「The Garden of Forking Paths: Exploring Independent Animation」 OCAT, OCT
Contemporary Art Terminal Shanghai /上海、中国
- 2012 「ジパング展－沸騰する日本の現代アート」
新潟県立万代島美術館／新潟、秋田県立近代美術館／秋田へ巡回
「Planete Manga! (at Studio 13/16)」 Centre Pompidou／パリ、フランス
- 2011 「East West Connect」 Above Second Gallery／香港
「ジャラパゴス展」三菱地所アルティウム／福岡
「ジパングー 3 1 人の気鋭作家が切り拓く、現代日本のアートシーン。」
日本橋高島屋 8 階ホール／東京、他 2 会場へ巡回
- 2010 「DOMANI・明日展 2010」国立新美術館／東京
「ジャラパゴス展 (Tokyo Designer'sweek)」明治神宮外苑／東京
「YouTube Play: Biennale of Creative Video」グッゲンハイム美術館／ニューヨーク、アメリカ
「Make Believe」The Harold B. Lemmerman Gallery, New Jersey City University／ジャージーシテ
ィー、アメリカ
「Dazzled and Enchanted－New Age Animamix」広東美術館／広州、中国
- 2009 「Enliven－In Between Realities and Fiction－Animamix Biennial 2009-2010」今日美術館／
北京、中国
「November Steps」ミヅマアートギャラリー／東京
- 2008 「反主流」三瀨画廊／北京、中国
「KITA!－Japanese artists meet Indonesia」ジャカルタ、ジョグジャカルタ、バンドゥン、
インドネシア
「VIDEOFORMES 2008」クレルモン・フェラン、フランス
「Eyes & Curiosity, Taiwan version」Soka Art Center／台北、台湾
- 2007 「3L4D－3rd Life 4th Dimension」National Dr. Sun Yat-sen Memorial Hall／台北、台湾
「How to cook DOCOMODAKE ?」201 Mulberry St. /ニューヨーク、アメリカ、
NTT インターコミュニケーション・センター (ICC) /東京へ巡回
「Pocheon Asia Biennale 2007－Encounter with Contemporary Asian Art」
Pocheon Banweol Art Hall /抱川、韓国
「Contemporary Outlook: Japan」Museum of Fine Arts, Boston／ボストン、アメリカ
「International Contemporary Art from the Harn Museum Collection」Harn Museum of Art
／ゲーンズビル、アメリカ
「Get It Louder 2007」広州、上海、北京、中国

- 「Thermocline of Art—New Asian Waves」 ZKM／カールスルーエ、ドイツ
 「CORPO SOCIALE」 Galleria PACK／ミラノ、イタリア
 「Festival EXIT」 Maison des Arts de Creteil /クレテイユ、フランス
 「No American Talent II, Dark Matter : New Work from Japan」 Okay Mountain
 /テキサス、アメリカ
- 2006 「Eyes and Curiosity from Tokyo」 Chelouche Gallery /テルアビブ、イスラエル
 「videotheque」 Site Gallery／シェフィールド、イギリス
 「Fiction@Love」 上海現代美術館／上海、中国
- 2005 「スイスコミックアート展」 川崎市市民ミュージアム／神奈川
 「Spoltore Ensomble 2005—The Evening Traveling: Animations,Dreams and Visions from
 Contemporary Japan」 ペスカーラ、イタリア
 「Paradiso d'Amore—Neo-Aesthetics of Animamic Age」 Hangzhou Peace International Exhibition
 and Conference Center／杭州、中国、Beijing World Art Museum／北京、中国へ巡回
 「Psionic Distortion」 Plum Blossoms Gallery／ニューヨーク、アメリカ
 「Since 1994—ミヅマアートギャラリー10周年記念展」 ミヅマアートギャラリー／東京
 「A ランチ」 アクシスギャラリー／東京
- 2004 「Psionic Distortion」 Super Deluxe／東京
 「Tokyo Style」 Milliken Gallery／ストックホルム、スウェーデン
 「日本四景」 ギャラリーエス／東京
 「Girls & Guns」 The Proposition／ニューヨーク、アメリカ
 「Blind Pilots」 The Proposition／ニューヨーク、アメリカ
 「オトメ会議」 ギャラリーエス／東京

主なスクリーニング:

- 2020 「CERNUSCHI ART VIDÉO #4: NATURA NATURATA」 セルヌスキ美術館、パリ、フランス
- 2019 「JAPONOHARA」 la sellerie du parc du haras／アヌシー、フランス
 アヌシー国際アニメーション映画祭「NEW MOTION—the Next of Japanese Animation-」 アヌシー、
 フランス
 「World Festival of Animated Film- ANIMAFEST Zagreb」 ザグレブ、クロアチア
- 2017 「Award-winning Program 2017」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「tenacious, gracious—し
 なやかに、したたかに—」 A4 Art Museum／成都、中国
 「FILE 2017- Electronic Language International Festival」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム
 「tenacious, gracious—しなやかに、したたかに—」) ブラジル
- 2016 「文化庁メディア芸術祭新潟展」 COZMIX ビル／新潟
 「文化庁メディア芸術祭 20 周年企画展『変える力』 UDX THEATER／東京
 「アテネ・デジタル・アーツ・フェスティバル 2016」 (文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN
 POP ENERGY」) Building Complex Gate Ermou／アテネ、ギリシャ
- 2015 「勝山映像フェスティバル 勝山アニメーション・ショウケース vol.1」 岡山

- 「ソウル国際マンガ・アニメーションフェスティバル」(文化庁メディア芸術祭上映プログラム「JAPAN POP ENERGY」) ソウル、韓国
 「ICAF2015」 新国立美術館/東京、シネモンド/金沢
- 2014 「Bradford Animation Festival」 National Media Museum/ブラッドフォード、イギリス
 「FANTOCHE」 バーデン、スイス
- 2013 「第16回文化庁メディア芸術祭」 国立新美術館/東京
- 2012 「第9回日本映画祭 映画とアニメーションの万華鏡」 釜山、韓国
 「Japan Touch」 リヨン、フランス
 「TOKYO ANIMA!秋」 国立新美術館/東京
 「TOKYO ANIMA!春」 国立新美術館/東京
 「Nippon Connection」 Japanese Film Festival/ フランクフルト、ドイツ
- 2011 「Adelaide Festival」 アデレード、オーストラリア
 札幌ビエンナーレ・プレ企画内「現代アニメーション総進撃！」 北海道立近代美術館講堂
- 2010 「Ottawa International Animation Festival」 オタワ、カナダ
 「SICAF (Seoul International Cartoon & Animation Festival)」 ソウル、韓国
 「Shinsedai Cinema Festival 2010」 トロント、カナダ
 「The 4th International Digital Moving Image Festival」 Korean Film Archive/ ソウル、韓国
 「PLASTIC PAPER: WINNIPEG'S FESTIVAL OF ANIMATION, ILLUSTRATION & PUPPET FILM」 ウィニペグ、カナダ
 「TOKYO_ANIMA!」 国立新美術館/東京
- 2009 「New Nippon: Contemporary Film & Video from Japan」 Gene Siskel Film Center/シカゴ、アメリカ
 「Shinsedai Cinema Festival」 トロント、カナダ
 「Film Fort, Function 13 Gallery」 トロント、カナダ

主な受賞歴

- 2012 アニメーション「KiyaKiya」
 ・平成24年度[第16回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門審査委員会推薦作品
- 2010 アニメーション「てんとう虫のおとむらい」ダイジェスト版
 ・「YouTube Play: Biennale of Creative Video」、TOP 25 videos
- 2003 マンガ「つめきり物語」
 ・平成15年度[第7回] 文化庁メディア芸術祭/ マンガ部門審査委員会推薦作品
- 2002 アニメーション「電車かもしれない」
 ・平成14年度[第6回] 文化庁メディア芸術祭/ アニメーション部門/ 奨励賞
 ・DIGISTA AWARDS 2002 アニメーション部門賞
 ・第3回 ユーリ・ノルシュテイン大賞/ 観客賞
- 立体作品「はこにわ虫」
 ・GEISAI1-GP/ 草間彌生賞

2000 マンガ「小林加代子」

- ・ 第2回アックス新人賞/ 奨励賞

ミュージアムコレクション：

Asia Society、ニューヨーク、アメリカ
川崎市市民ミュージアム、神奈川県
森美術館、東京

出版物

2020 『A子さんの恋人』全7巻 (KADOKAWA)

『ニューヨークで考え中』1～4巻(以下続巻) (亜紀書房)

『A코 씨의 연인』全7巻 (미우)

2019 新版『近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』(ナナロク社)

2018 『Chroniques new-yorkaises Volume 2』(Le Lezard Noir)

『il mondo degli insetti』(Coconino Press)

2016 『Chroniques new-yorkaises Volume 1』(Le Lezard Noir)

2014 『Nothing whatsoever All Out in the Open』(Retrofit / Big Planet Comics)

2013 『Kiyakiya-アニメーション原画集』(ナナロク社)

2013 『近藤聡乃作品集』(ナナロク社)

2012 『うさぎのヨシオ』(エンターブレイン)

2012 『近藤聡乃エッセイ集 不思議というには地味な話』(ナナロク社)

2011 『近藤聡乃スケッチ集 Kiyakiya』(ナナロク社)

2009 『Les insects en moi』(Le Lezard Noir)

2008 『いつものはなし』(青林工藝舎)

2006 『EIKO』(Le Lezard Noir)

2004 『はこにわ虫』(青林工藝舎)